

各部会報告資料

- ・こども部会 (P 2 - 4)
- ・就労部会 (P 5 - 7)
- ・相談支援部会 (P 8 - 10)
- ・精神障がい者地域移行支援部会 (P 11 - 12)

こども部会活動報告（令和6年度第3回）

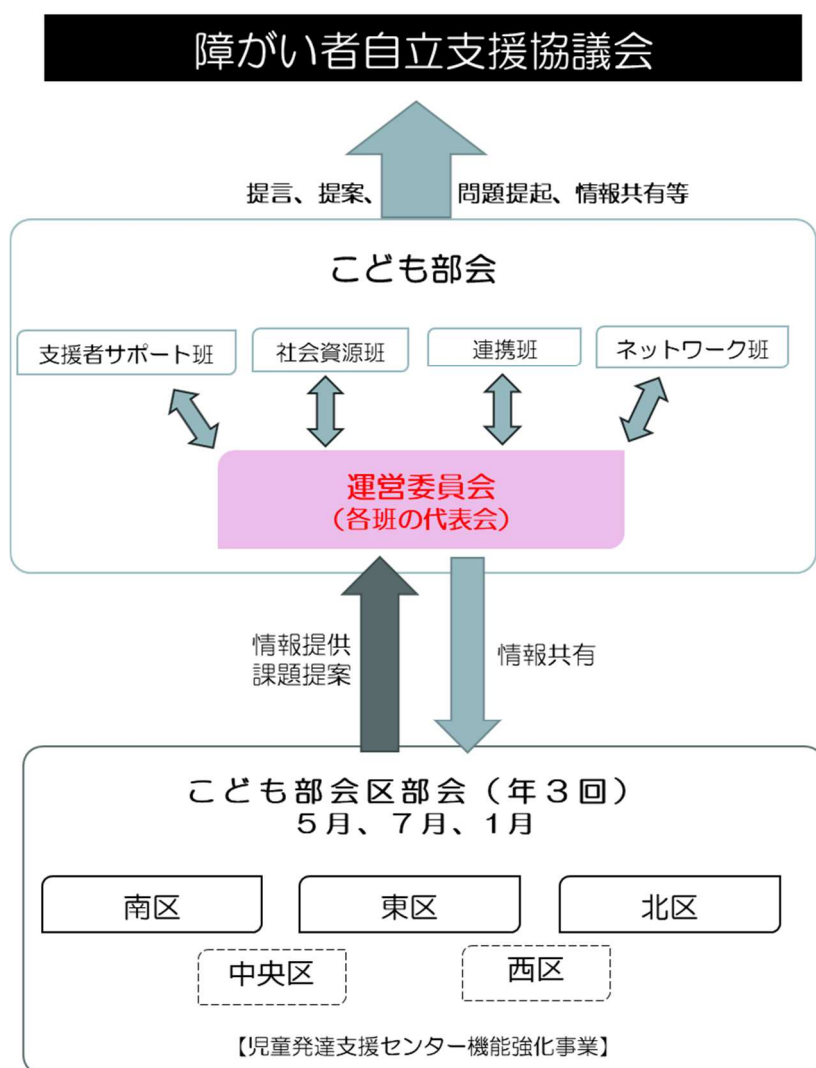
1 部会の目的

障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、「障がい児とその保護者を支援する」という共通理解のもと、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

2 令和6年度の運営体制

令和3.4.5年度は障がい児のライフステージに応じた班体制を取っていたが、令和6年度からは、児童発達支援センター機能強化事業における取組のひとつである**こども部会区部会**（旧：障がい児福祉ネットワーク会議）にて上がった地域課題に応じた班体制にて運営を行う。

運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）



3 令和6年度の取組実績（令和6年1月末時点）

（1）取組内容

ネットワーク班

テーマ：地域における子どもに関する課題の集約・整理と発信

（令和6年度取組予定）

ミニ研修会の開催
各地域で開催されている会議等の整理
子どもプラグの作成

（令和6年度取組実績）

- ・こども部会区部会で挙げた地域課題の共有
- ・ミニ研修会（第1回こども部会報告）
- ・こどもプラグへの要望の整理、掲載内容の検討

支援者サポート班

テーマ：関係機関同士の相互理解を深める

（令和6年度取組予定）

地域の子育てを支援する機関を知る
と福祉サービスの違いを知る
各区部会で挙げた課題に対する取り組み

（令和6年度取組実績）

- ・子育て機関の役割整理（学齢期まで）
- ・連携が必要な機関についての課題やどんな連携が必要かについて検討
- ・福祉サービス以外で子育てをサポートする役割（機関）について整理
- ・発達支援コーディネーターについての情報共有および課題整理
- ・放課後児童育成クラブへのアンケート実施。

社会資源班

テーマ：保護者の方や支援者の方が手に取りやすい情報やシステム作り

（令和6年度取組予定）

成果物の整理
余暇支援マップの周知・更新・見直し

(令和 6 年度取組実績)

- ・ 成果物に関する周知用紙の内容、レイアウトの検討
- ・ 余暇支援マップの周知方法、市ホームページのリニューアルに合わせ、掲載場所検討、集約化

連携班

テーマ：アンケートを通して見えてくる 3 年間の経過と在学中、卒業後の生活支援と課題、成長過程における支援と関係機関の連携や情報提供を行う

(令和 6 年度取組予定)

- 高等学校へのアンケートの継続と啓発活動について
- 成長に応じた支援と情報提供について (リーフレット作成)

(令和 6 年度取組実績)

- ・ 高等学校 (通信制含む) へ障がいのある学生への支援に関するアンケートを実施、回収。内容の精査および課題抽出予定。
- ・ “つなぐ” をテーマにした子どもたちの成長 (発達段階) に応じた情報提供に関するリーフレットの作成

(2) 研修報告 (医療的ケア児について)

1 2 月の部会にて、熊本県医療的ケア児支援センター副センター長の小篠史郎先生をお招きし、医療的ケア児に関する研修会を開催。講話とグループワークを実施。グループワークでは、講話を受けての感想や、現状を踏まえ、どのような支援、フォローがあれば医療的ケア児とその家族を支えることができるのかについて意見交換。

4 振り返り

こども部会では、今年度からこども部会区部会で上がった地域課題に応じ、支援者サポート、社会資源、連携、ネットワークの 4 つの観点から取り組みを行った。それぞれの班が抽出された課題を吸い上げ検討することで、障がい児療育の質の向上に向けて協議を進めることができた。

一方で、班同士の横の連携や情報共有については課題が残ったため、来年度は、運営委員会での情報交換等をより活発化させ、こども部会の活動が効率的かつ効果的に進めていけるよう、取組を進めていく。

就労部会活動報告（令和6年度第3回）

1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

2 令和5年度の実績

（1）運営体制

4つの班構成（企業就労班、福祉就労班、当事者対話班、くまもとDX班）で各班作業に取り組んでいる。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

（2）運営委員会開催状況

原則、毎月第2木曜日にオンライン（Zoom）開催しており、5つの班の代表者が集まって、部会の進め方等について意見交換を行っている。

（3）部会の開催実績

原則、毎月第1木曜日に開催しており、ミニ研修等と班活動を実施している。

	内容	参加人数
4月4日（木）	1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会について 2 班活動（アンケート回答、地域における就労支援の課題の検討）	55名
5月2日（木）	1 班活動（アンケート結果の確認、年間計画の作成）	50名
6月6日（木）	1 ミニ研修 「就労選択支援について」 班活動	52名
7月4日（木）	1 班活動	55名
8月1日（木）	1 ミニ研修 「マインドフルネスについて」 2 班活動	41名
9月5日（木）	1 ミニ研修 「就労選択支援について」 2 班活動	48名
10月3日（木）	1 ミニ研修 「くまもとDX班のアンケート結果発表」 2 班活動	47名
11月7日（木）	1 ミニ研修	48名

	「就労と定着に向けた KDS ネクストカレッジの取り組み」 2 班活動	
12 月 5 日（木）	1 ミニ研修 「理想のワーク・ライフバランスについて」 2 班活動	46 名
1 月 9 日（木）	1 ミニ研修 「高次脳機能障がいについて」 2 班活動	53 名

（４）各班の取組

企業就労班

<企業就労グループ>

（目標）・障がい者の一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動

・サポート企業・団体の啓発

- | | |
|--|-------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・企業への雇用受入れの周知・啓発 ・サポート企業の啓発 | ・「しごといく」の作成 |
|--|-------------|

<定着支援グループ>

（目標）地域で安心して未永く働き続ける為の情報の収集と発信

- | |
|-------------------------|
| ・一般就労後の定着に関する検討（企業との連携） |
|-------------------------|

福祉就労班

<事業所支援グループ>

（目標）・利用者支援についての質の向上を図る

・就労支援事業を取り巻く様々な問題について、意識や学びを深める

- | |
|-----------------------------|
| ・事業所における支援や環境等に関する困り事の共有・整理 |
|-----------------------------|

<工賃向上グループ（きてよかった班）>

（目標）工賃向上をベースとして A 型、B 型、新規開設事業所、老舗事業所、GH 等それぞれの目線から障害福祉サービス事業所の課題を整理共有し、解決策を検討する。その課題と解決策（案）を熊本市に提言し、行政機関と共により良い熊本市の障害福祉サービス事業所づくりに取り組む

- | |
|--------------------------|
| ・事業所における事業収入を増やしていくための検討 |
|--------------------------|

当事者対話班

（目標）・「当事者」と「企業」の思いの違いを知る（働き方、働き続ける為に必要なこと）

・「家族」と「働く」の関係性を知る

- | |
|----------------------------|
| ・当事者の視点から就労に関する悩みや提案を検討する。 |
|----------------------------|

くまもと DX 班

(目標) 在宅就労や DX などの新たな働き方への見識を深め、実態を把握する。

- ・在宅就労やデータ作業等が推進されている社会状況を踏まえ、障がい者雇用の可能性を広げていくために、新しい働き方を検討する。

3 その他

例年実施している「就労フェア」を令和 7 年 2 月に開催。

< 概要 >

日 時：令和 7 年 2 月 19 日（水）14 時～16 時半

開催場所：希望荘 2 階大ホールおよびオンライン（ZOOM）

内 容：「発達障がい者のキャリアアップを見据えた働き方について考える」
をテーマとしたシンポジウム
各班の成果発表 等

相談支援部会活動報告（令和6年度第3回）

1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

2 令和6年度取組

（1）運営体制

運営委員会のメンバーを3つの班（フォローアップ班、地域課題班、ワーキンググループ班）に分け、各班で整理した課題をもとに検討した企画を全体会において実施。

毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

（2）取組内容

月毎に企画の担当班を割り当てて、部会を進行。

フォローアップ班

- ・計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

（取組実績）

- ・ロールプレイを通しケアマネジメントプロセスを確認及び意見交換
- ・ファシリテーション技法について共有、体験

地域課題班

- ・個別のニーズや課題を踏まえて個別の支援や課題解決の検討
- ・個別のニーズや課題から地域課題の抽出
- ・事例検討会の企画

（取組実績）

- ・2つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて地域課題セッションを実施。今後は、出された意見のとりまとめを予定。

A班 1. フードバンクやパントリー、食に関する救済場所などの拠点となる場所が身近に少ない

2. 医療的ケア児者、強度行動障害児者の受け入れ可能な事業所、保育園が少ない

B班 1. ひきこもりの方への支援体制が少ない

2. 地域に障がい児者の得意なことを活かせる場所がない

- ・8つのケースの事例検討を実施。今後事例検討の中から出された地域課題についても整理していく予定。

ワーキンググループ班

- ・相談支援ハンドブックの見直し
- ・報酬改定に伴う内容の確認、整理、共有

(取組実績)

- ハンドブックの見直し
- ・社会資源（福祉サービス以外）の掘り出し
- ・計画相談の流れの整理
- 報酬改定
- ・令和6年度報酬改定に伴う計画相談の加算の取り方の内容確認と整理
- ・令和6年度報酬改定以外の部分についての不明確な部分の洗い出しと確認

【部会の実施内容】

	部会内容等	場所
5月21日	インフォメーション 令和6年度熊本市自立支援協議会相談支援部会の活動について 班活動・全体共有	託麻公民館ホール
6月18日	インフォメーション 報酬改定について 班活動・全体共有	東部公民館ホール
7月16日	インフォメーション 班活動・全体共有	ウェルパ ルくまもと すこやか ホール
8月20日	インフォメーション 虐待研修について 班活動・全体共有	東部公民館ホール
9月10日	インフォメーション 第1回熊本市障がい者自立支援協議会（6/27）の開催報告 班活動・全体共有	北部公民館 ホール
10月8日	インフォメーション 座談会	西部公民館

11 月 19 日	インフォメーション 班活動・全体共有	東部公民館
12 月 17 日	インフォメーション 班活動・全体共有	ウェルパ ルくまも と 大会議室
1 月 21 日	インフォメーション 全体研修（GSV の手法を用いた事例検討）	ウェルパ ルくまも と 大会議室

部会 ：原則毎月第 3 火曜日 1 5 時～ 1 7 時

運営会議：原則毎月第 4 月曜日 1 3 時～ 1 4 時半

（ 3 ）今後の予定

2 月 班活動

3 月 班活動、年度振り返り

精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和6年度第3回）

1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

2 令和6年度の実施状況

運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～4回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

取組内容

1、全体部会

- | | |
|--------|---|
| 6月11日 | 第1回全体部会開催（出席69名、ZOOM開催）
内容・事業説明、年間計画
・地域移行支援基礎研修
・各区部会の報告
・グループでの意見交換 |
| 9月17日 | 第2回全体部会開催（出席57名、ZOOM開催）
内容・各区部会の報告
・医療機関訪問についての説明
・地域移行支援マニュアル説明
・グループでの意見交換、感想共有 |
| 12月10日 | 第3回全体部会開催（出席66名、会場：ウェルパルクまもと）
内容・各区部会の報告
・居住支援協議会の活動について説明
・グループでの意見交換 |

2、区部会

各区3回～4回実施。地域移行支援個別給付の経過報告に加え、各区の課題をもとにした取り組みについて話し合いを行っている。

3、コアメンバー会議

- 4月（出席19名）区部会報告、全体部会年間計画
- 5月（出席10名）6月全体部会検討
- 6月（出席17名）6月全体部会振り返り
- 7月（出席4名）医療機関訪問について、ピアサポーターの座談会について
9月全体部会検討
- 8月（出席9名）医療機関訪問について、ピアサポーターの座談会について
地域移行支援マニュアルについて、9月全体会検討
- 9月（出席16名）9月全体会振り返り、地域移行支援マニュアルについて
- 10月（出席9名）医療機関訪問について、ピアサポーターの座談会について
地域移行支援マニュアルについて、12月全体部会検討
- 11月（出席8名）12月全体会検討、ピアサポーターの座談会について
- 12月（出席11名）12月全体会振り返り
- 1月（出席6名）2月全体部会検討、地域移行支援マニュアルについて
医療機関訪問について

4、地域移行支援マニュアルについて

令和6年11月24日地域移行支援マニュアル完成。熊本市ホームページに掲載。

3 今後の取組予定

1、全体部会

第4回目を2月に予定。

今後も地域移行の普及啓発に向け、働きかけを行っていく。

2、区部会

各区年3～4回の開催を予定。

各区3～4回実施済み。今後開催予定の区部会内においては情報共有を継続しつつ、普及啓発を進めていく。

3、コアメンバー会議

月1回の開催を予定。2月の会議は未開催。

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。